

## 蛭ヶ岳～檜洞丸

山行日：2021.11.4～5 参加者：5名 天候：晴れ 記：t h  
コース：橋本/6:53 -三ヶ木/7:40 -西野々/8:00 -焼山/11:05 -姫次/13:40 -蛭ヶ岳山荘/16:10 5日 7:00 -臼ヶ岳/8:45 -檜洞丸/12:05 -ゴウラ沢出合/14:20 -西丹沢ビジターセンタ/15:25

最後の丹沢主脈、丹沢主稜の縦走を計画する。しかし予想以上の焼山までの急こう配に音をあげる

黍殻山

焼山

焼山へは壁のように高度差 750m の急登がつづく厳しい尾根



特に厳しい急登ヶ所が2カ所ある



ようやく3時間を要して焼山山頂へ  
ここでピストンするハイカーも結構いた



黍殻避難小屋を左下に

宮ヶ瀬湖も見える



従来、焼山の急登を避けて東野 BS からここへ出て大倉へ日帰りしていたのだが、体力低下で山荘泊とした  
丹沢三峰と手前の紅葉に染まった白馬尾根



平日とあって行き交うハイカーも少なく静かだ

ようやく蛭ヶ岳山荘が見えてきた



縦走路中唯一の水場だったが落葉で踏み跡不鮮明で水の補給をあきらめ小屋で購入することに



ここからコース中、ブナ林のハイライト地帯を行く



高度を上げて行き最後の登り

階段路が出てくると蛭ヶ岳への登り開始



16時10分蛭ヶ岳山頂に着く



陽は陰って寒いため宿泊者は小屋の中



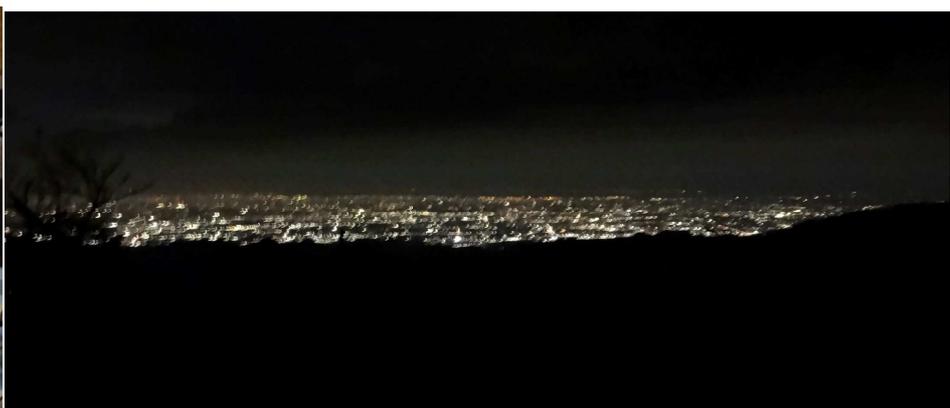
ロートルグループにて16時過ぎとなってしまう  
小屋番さんが心配していたが30分の遅れだった



ワンルームの室内はコロナ対応



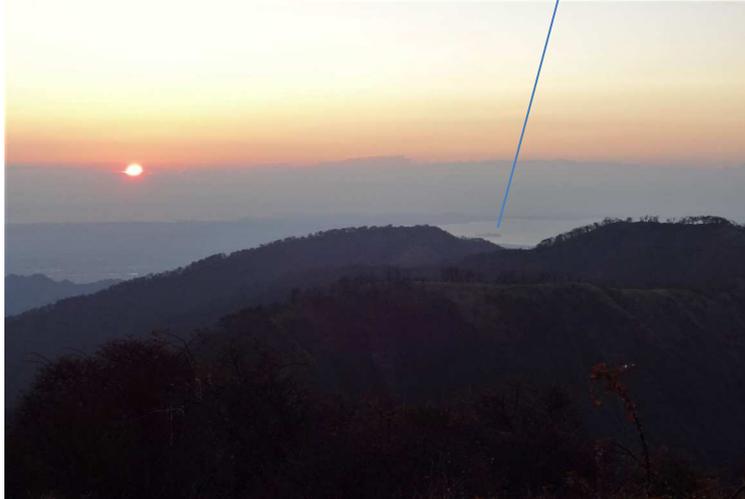
横浜、湘南方面の夜景



昨夜、夕陽は見れず 富士山と山中湖檜洞丸への縦走路



横浜方面から太陽が登ってきた 江ノ島



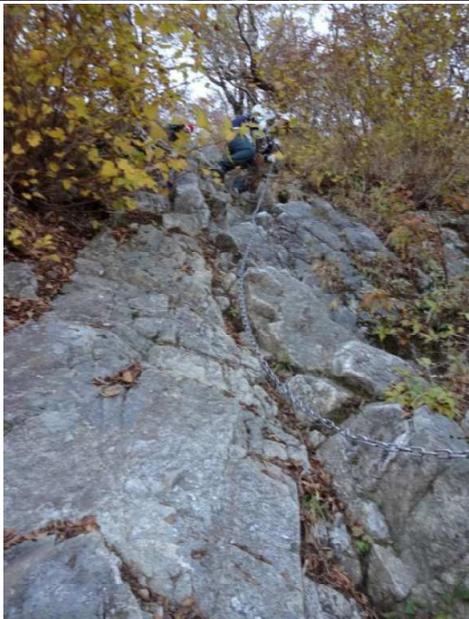
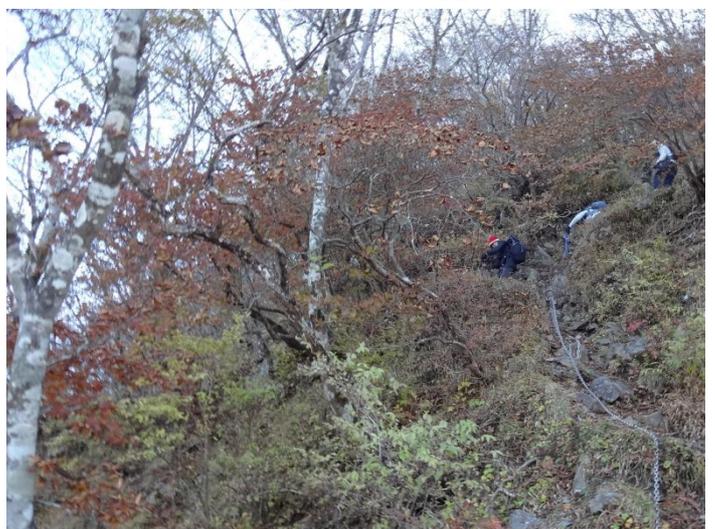
同角の頭 檜洞丸



7時臼ヶ岳へ向けてガレ場を降って行く



すぐにコース中唯一の鎖場核心部



臼ヶ岳で秦野市在住の女性に依頼して



これよりアップダウンを繰り返しながら進む



神ノ川乗越で一息



降って登って

急峻だった金谷谷乗越



蛭ヶ岳の稜線も遠くなってゆく

ゆるい尾根になると檜洞丸も近い



屋根のペンキ塗り作業中の青ヶ岳山荘



数組のハイカーが居た檜洞丸山頂



高度が下がって紅葉ゾーンに



ゴウラ沢出合



丹沢で一番紅葉が綺麗な石棚山稜は今が盛り

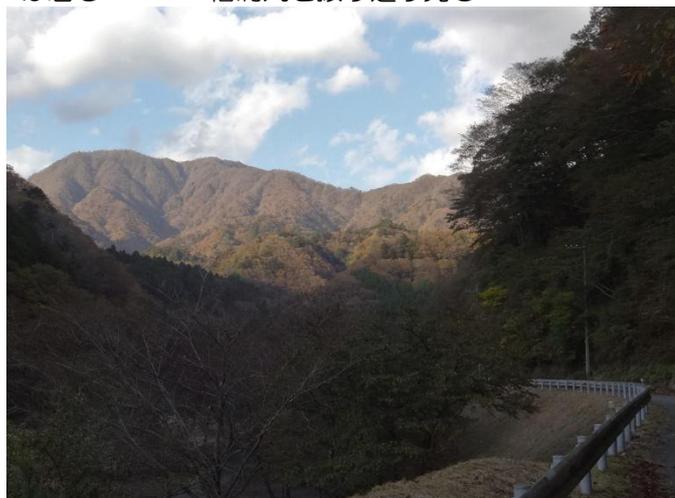
最近までこの崩落で通行止めとなっていた箇所



林道に降り立つ

平日にもかかわらずキャンパーは居る

檜洞丸を振り返り見る



今どきのキャンパーには季節は関係ないようである  
キャンプサイトの売店でビールを購入し反省会

